

遠野市監査委員告示第2号
令和元年5月29日

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づく工事監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員 佐藤 サヨ子
遠野市監査委員 佐々木 資光

令和元年度工事監査結果報告書（平成30年度施工分）

1 監査の期日及び対象

平成30年度に施工した市営建設工事について、書類監査は平成31年4月22日から26日までの間における3日間、現地監査は下表の日程で3日間、延べ6日間実施した。

期 日	工 事 名	請負金額	担当課（依頼先）
5月10日	岩手路中継基地トイレ解体工事	7,117,200円	観光交流課 （まちづくり推進課）
	たかむろ水光園芸能館浄化槽・温泉システム更新工事	22,680,000円	
	水道施設耐震化等推進事業（柏崎3工区）工事	121,075,560円	上下水道課
	土淵小学校校舎大規模改造工事第1期（増築・外構）工事	43,272,360円	財政担当 （まちづくり推進課）
5月13日	市道新穀町通り線道路改良舗装工事	106,206,120円	建設課
	遠野市災害公営住宅（穀町団地第2期）（第1工区）建設工事	35,941,320円	まちづくり推進課
	遠野ふれあい交流センター風除室等改修工事	31,259,520円	市民協働課 （まちづくり推進課）
5月16日	松崎町第4区コミュニティ消防センター新築工事	50,203,800円	消防総務課 （まちづくり推進課）
	重要文化財千葉家住宅第1期保存修理工事	71,181,720円	文化課

2 監査の内容

工事の施工に係る事務執行の状況及び現地確認

3 監査の手順

- (1) 請負金額が300万円以上の工事を抽出し、当該73件の概要について担当課長等に資料の提出を求めた上で、そのうち9件を監査対象とした。
- (2) 事前監査として、監査対象工事に係る設計図書、契約書、施工状況その他の関係書類の提出を求めて書類監査を行い、疑義その他不明な事項については現地監査の前に担当課長等に説明及び補足資料の提出を求めた。
- (3) 現地において工事施工担当者等から説明を聴取し、工事の施工状況を確認した。

4 監査の結果

工事実績情報システムへの登録が所定の時期より大幅に遅れていたもの及び設計額の算定において端数処理を誤っていたものが各1件ずつあった。これらに関しては、関係職員に対して口頭等で指摘し、今後の再発防止について指導した。

また、工事に係る契約その他の関係書類の事務処理において、起案文書への公印使用件数の誤記等が2件あった。これに関しては、その都度、関係職員に対して口頭等で指摘し、不備は改善・訂正された。

なお、施工状況については、工事主管課等の工事監理のもと、設計図書、仕様書等に基

づき必要な検査等も実施され、おおむね良好に施工されているものと認められた。

監査対象工事ごとの監査の結果については、次のとおりである。

○岩手路中継基地トイレ解体工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成元年3月竣工の当該施設については、国道283号を通行するドライバー等へ休憩の場として一定の利便を提供してきたが、老朽化に伴い改修が必要な状態となっていた。

しかし、近隣に複数のコンビニエンス・ストアが開店する等の周辺環境に変化があるとともに、東北横断自動車道釜石秋田線・釜石花巻道路の全線開通により利用者数の減少が予測されることから、岩手路中継基地としての所期の目的を達成したことにより解体されたものであり、年間2,450千円を要していた施設管理費の節減も図られることから、妥当性についても認められた。

○たかむろ水光園芸館浄化槽・温泉システム更新工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

年次計画で設備更新を図る工事であった。

芸館浄化槽については、従前、処理能力に対して発生・流入する汚水量が過小であるため微生物が繁殖しにくい状態であったが、今工事において利用客数に見合った規格のものへと適切に見直しのうえ整備されていたと認められる。

浴場の温泉システムについては、配管等に経年劣化が見られたミスト(湿式)サウナに關係する低温霧温泉システムの機材の更新が図られたものであり、更新後は利用客が増加し、かつ、客単価も上昇しているとのことから、利用者満足度の向上が図られたものと認められる。

なお、本市土淵町柵内地区から宮古市小国地区までの間の国道340号・立丸峠トンネルの全線開通に伴い交通量の増加が見込まれることから、今後、その誘客と利用促進に期待したい。

○水道施設耐震化等推進事業（柏崎3工区）工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

簡易水道事業の地域における不安定水源解消を図るための上水道への統合、遠野東工業団地での給水需要の増加に伴う配水管の増径及び耐用年数を経過した水道管に係る耐震管への更新等が、安定配水の継続に向けた10年間の長期工事として行われ、当該年度分の工区に係る工事は適切に行われていた。

工事施工において工事区域内の生活道路の通行が規制されるが、住民に不便や負担をかけない工夫の取入れや手法を採用していると感じられた。

○土淵小学校校舎大規模改造工事第 1 期（増築・外構）工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

築後 40 年経過している土淵小学校校舎の大規模改造工事が行われているが、国庫補助事業の対象から外れる給食荷受室及び昇降口の増築並びに渡り廊下の改築について、市単独事業で行われたものだった。

以前の校舎に比較して寒さが緩和される等、児童が快適に利用できる校舎としての完成に向けて各工事が着実に進められ、児童にとって良好な教育環境を整える工事であると認められる。

なお、既存の校舎への増築のため、工事内容の一部には制約を受けた部分があるように見えたが、段差を生じた渡り廊下等、今後は日々の使用において管理を徹底されたい。

○市道新穀町通り線道路改良舗装工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

本市道改良舗装工事は、電柱及び街灯を移設して歩行空間を広げるとともに、街灯を LED 灯のもので再整備し、歩道の融雪に市内では初めてとなる効率性・経済性に優れたヒートパイプ方式の施設を採用して整備されたものであり、歩行者の安全度・安心感を大いに高めた工事であったと認められる。

○遠野市災害公営住宅（穀町団地第 2 期）（第 1 工区）建設工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成 29 年度からの年次計画で、東日本大震災の被災者の住環境を整え、かつ、居住の安定化を図るため、恒久的災害公営住宅の建設が行われているものであり、当該年度分の 4 棟 8 戸について、計画通り整備されていた。

入居者同士によるコミュニティの形成を助長するよう玄関を対面式に配置する等、被災された方々の心に寄り添う住宅となるよう工夫していることは評価できる。

○遠野ふれあい交流センター風除室等改修工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成 13 年度に開業した遠野ふれあい交流センターであるが、施設正面の自動回転ドアについては、事故防止の観点から平成 15 年度から使用停止となっていた。当該施設の補修や改修が年次計画で進められる中において、ようやく既存設備を撤去して新たに風除室として整備が完了したものである。

寒さの厳しい本市では風除室の必要性は充分であり、深夜から早朝の間における施設を出入りする宿泊客の利便向上と安全・安心を確保する新たな仕組みを導入したことは、市民並びに国内外からの多くのお客様をお迎えする施設として、正面玄関の改修工事は風除機能にとどまらない大きな効果を今後発揮すると思われる。

また、喫煙室の新設は、社会情勢に照らしても適切なものであると認められる。

○松崎町第4区コミュニティ消防センター新築工事

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

既存施設の老朽化等に伴う工事であった。防災体制の確立のための消防屯所と地域福祉の増進のための地域コミュニティが使用する集会施設との合築であるコミュニティ消防センターとしての整備及び住民の要望を反映しての水防施設の併設は、「地域づくり」を重要施策の一つに掲げる本市においては、大いに必要性は認められる。

また、施工の品質及び機能とも過度にならず妥当な内容であった。

○重要文化財千葉家住宅第1期保存修理工事

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

平成28年度から8カ年にわたる工事であるが、全体的には計画通り進行されていた。当該年度は、主屋、主屋石垣、土蔵、石蔵等の解体工事等が進められたが、土蔵及び石蔵は解体中の調査で損傷が少ないことが判明したことから半解体修理に切替えて解体範囲の見直しを行う等、作業は慎重に進められていた。

なお、解体して初めて得られる貴重な情報も多いとのことであるが、全庁的な情報の共有・発信がなされ、遠野郷を象徴する施設の一つとしての活用計画も着実にまとめられていくことを期待する。